

## 有害物質を同時処理

## 類例のない技術

ティーエスピー（広島市南区、多田多延子社長）は14日、東京都千代田区の中央合同庁舎で、世界で類例のない有害物質の処理技術を発表した。

同技術は土壌・焼却灰に含まれる、セシウム・重金属・ダイオキシン・PCBを、有害物質を出さずに同時処理し、セシウムなどの分解できない物質の、埋め立て段階での有害物質量を減容できる。（セシウムは100分の1）また新たに開発した分解菌で、95%のダイ

オキシンを無害化できる。この菌は熱を使わないため、運用コストは焼却設備の50%以下。

施設はオーダーメイドで、250～500坪程度から設置可能。今後の予定は既に話が来ている国内外プラントメーカー、ゼネコンなど、あらゆる問い合わせに対応していく。電話082-253-0528。

（古澤まどか）